

4.10(土)-18(日)
10am - 5pm (最終日は4時まで)

マルタさんによる「ふすま絵ペインティング」が旧笠井邸(第一会場)で毎日行われます。



タ・モンカーダ
スト代表 バルセロナ

オープニングコンサート CuBambooナイト!

4.10. 6pm~

名古屋No.1のキューバ音楽バンドHabana Secreta&SHIHO
オープニングコンサート + たけはら国際アート展参加アーティストによる
ドロイングパフォーマンス「CuBamboo Night!」4月10日17時半開場。
チケットのご予約・お問い合わせは事務局まで (0846-22-0214)

ラテンピアノSHIHO

◆東京芸術大学音楽学部楽理科卒。通算4回目にして初めて一年間キューバへ留学。グラミー賞4回受賞経験を持つチューチョ・バルデスほか、オルテンシア・ウップマン、アレクシス・ボッシュ、ロベルト・カルカセスに師事。音楽大國キューバでは、毎日劇場、ライブハウス、街頭などへ足繁く通い、この地で生まれた者であれば遺伝的に必ず持つ生まれるであろう複雑で難解なリズムを体得すべく奮闘。



【第一会場】旧笠井邸

入場料 100円

マルタ・モンカーダ

バルセロナ生まれ。国立バルセロナ大学芸術学部を卒業後、市内に銅版画、シルクスクリーンの工房を設立。アントニ・タピエスやガウディ財団からの仕事を受けながら、自身の作風をミックスメディアで追求し続ける。日本の神社仏閣や伝統文化に魅了され、来日は10数回に及ぶ。ヨーロッパ全土と東京、名古屋、大阪で個展多数。昨年、倉敷展のあとで訪れた、地中海に似た美しい瀬戸内の風景が気に入り、竹原の古い町並みを利用した展示を、夫とともに企画した。

塩田恵

福岡生まれ。銅版画のメソット技法による作品を主に展開。油彩、水彩画なども制作。個展・グループ展多数。現在、春陽会会員。日本芸術家連盟会員。

【第三会場】酒蔵交流館

藤原拓也

86年 大阪芸術大学芸学科専攻科卒業。92年 福井県の現代美術実験展参加。02年~京都市美術館ハンリアル展出品。06年比良美術館出品。09年米サンタフェ芸術祭出品。

ベンジャミン・サスエタ

メキシコ出身。倉敷市に工房を構える。ポロシリケイトという耐熱ガラスを使い制作を行う。新素材のGlowGlass(光るガラス)もいち早く取り入れる。ガラスを2500℃以上で溶かして形成し、24金や銀をあぶり、着色したり、色鮮やかなデザインが特徴。

宮地利昌

香川県生まれ。高松市で漆工房「宮地」主宰。93年 漆フォーワーベース発表。99年ヤマハファンクラブ誌「レガート」に採用される。テレビ番組「ブロードキャスター」のインテリアデザインに採用。JAL機内誌、全国有名百貨店で取中。

【第五会場】竹楽

丸山智代

岡山生まれ。愛知教育大学教育学部美術科卒業。現在は岡山で銅版画(ドライポイント)やコラージュの制作を中心に活動中。05年 個展/天音堂ギャラリー(大阪)。07年 個展/スペースほづみ(岡山)。08年 個展『密やかな視線』/うずらギャラリー(京都)。09年 個展『The Regard~まなざし~』/スペースほづみ(岡山)。09年 グループ展『3つのかたち』/クラフト&ギャラリー幹(倉敷)

トニ・バルジャウ

スペイン/カタルーニャの版画家。バルセロナ郊外の田舎で、シルクスクリーン工房を25年に渡って主宰。アンディ・ウォーホルを超える色彩美を研究しつつ、ガウディの有機的フォルムのオマージュを制作。

【忠海会場】カフェ ホクストン

徳持耕一郎

浮世絵への興味から版画全般を学ぶ。89年 NYで個展の時、每晚ジャズクラブ通い、ジャズに魅了され、ナプキンに演奏者をスケッチする。その時、スイングに合わせてペンを走らせ描く楽しさを発見。以後今日までスケッチする。93年より独自の「鉄筋彫刻」を作り始め、年数回の個展を毎年各地で開催。「西洋の塊の彫刻に対して、線とどこまで3次元的表現が可能か」に挑戦し、自分の「線」を探る。

【第二会場】松阪邸

入場料 200円

出射茂

いでい しげる。呉市出身。東京芸術大学美術学部 絵画科卒。同美術研究科修士課程修了。「上野の森美術館大賞展」優秀賞、「三浦美術館大賞展」大賞他、受賞多数。東京、大阪、名古屋、ニューヨークなどで個展を中心に活動。また、上海、東京のアートフェアにも出品し、海外にも活動の場を広げつつ、音楽家とのパフォーマンス・コラボレーションも開催。

芝真路

しば しんじ。陶芸家。兵庫県出身。岡山大学教育学部特別教科(美術・工芸)卒。同大学院教育研究科修了。87年倉敷市に築釜。2002年東京・四季彩舎で個展。現在岡山県赤磐市に築釜し、全国で個展、グループ展等で活動中。第三、第五会場でも作品は販売されます。

【保存センター会場】2F

大下志穂

鳥取県米子市生まれ。青山学院大学国際経済学部卒業後、バンコクに渡り6年を過ごす。その後、バンクーバーへ留学、3Dアニメーションを学ぶ。帰国後、村上隆率いるアート集団カイカイキキで映像・アニメの制作に携わる。2009年地元米子市を拠点に、本格的創作活動を始動。

Kaolu

禅寺に生まれ育つ。米国ミシガン州にあるスオミ大学(現在のフィンランド大学)にてデザイン、ウィービング等を学ぶ。この十年程は、田崎博和氏の夢前竹紙を使った花のオブジェを中心に、ディメンションアートを作っている。

田崎博和

竹紙・竹筆作家。兵庫県にある竹紙工房「夢中庵」主。全国の美術館などで竹紙製作、柿渋染の講習や、講演活動もこなす。水上勉氏の竹紙を使った書画制作を協力し続けた。

【第六会場】光本邸

コルド・セバステア

61年、パンブローナ生まれ。スペイン、日本にて30を超える個展・共同展を開催。「Pamplona Jóvenes Artistas」, "Arte y Medio Ambiente", "Bilaketa" といった数多くの賞を受ける。作品はセゴビア銀行、パンブローナ市役所、ナバラ議会、公立ナバラ大学、宇フォーラムKV21美術館(東京)等に所蔵。

ジョアン・モンカーダ

国立バルセロナ芸術大学元副学長。現在、国立バルセロナ大学芸術学部名誉教授。09年 長女マルタと初の二人展を横浜、東京、日光、倉敷で行う。80才を超えた今も、愛車シトロエンで山へスケッチに出かけ、自宅アトリエでは2mの布絵、墨絵などを精力的に描いている。

松本潮里

高松市生まれ。96年 嵯峨美術短期大学美術学科 絵画専攻科修了/大学賞。第48回京展(京都市立美術館)。大阪、広島で個展。05年から全国の百貨店、ヨーロッパでの展示に出品。細密なタッチのテンペラ画には世界中にファンが多い。



芸術ファン必見! 全16作家の最新作が入手できる「直売コーナー」も開設します。



漆デザイナー宮地利昌氏の作品「花立て」

<町並み保存地区での併設展>
平山都夫画伯をしのいで代表作等(リトグラフ)展示(磯辺邸)

竹のインスタレーション展
造形作家マルタ・モンカーダと地元学生との共同制作(松阪邸)



第三会場「酒蔵交流館」



忠海会場「カフェホクストン」

「たけはら国際アート展」スタンプラリー達成の方に、もれなく景品を贈呈します。

◆くわしくは会期中に現地でお配りする公式パンフレットをご覧ください。公式サイト: artakehara.exblog.jp



2会場共通 割引券

会期中一枚につき10名様まで有効

第一会場・第二会場 300円 → 200円

領収印